

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-143	高等学校	外国語	コミュニケーション英語 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	コ I ・ 343	Revised BIG DIPPER English Communication I		

1. 編修の趣旨及び留意点

本教科書の編修にあたっては、学習者が**日常的な話題**を通じて**人間性や社会性を育む**ことができ、かつ**基本的な英語の運用能力**や、**英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度**を伸ばせる内容・構成となるよう留意した。

2. 編修の基本方針

編修の基本方針として、学習者が**日常的な話題**を通じて**人間性や社会性を育む**ことができ、かつ、**基本的な英語の運用能力**や、**英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度**を育成できる内容・構成となるよう留意した。

1. 題材は学習者に親しみやすく、かつ学習者の生きる力を育成する内容豊かなものを選んだ。
2. 言語活動においては中学校との連携を考慮し、確かな定着を目的として基本の反復活動を重視した。
3. 題材を学習するにあたっては、「読む」「聞く」「書く」「話す」の4技能を有機的に関連させる活動を設けた。
4. 読んだり聞いたりした内容について、学習者自身の意見を引き出したり、クラスメートの意見を聞いたりする活動を設けて、学習者が積極的に授業に参加できるようにした。
5. 「言語の働き」に重点を置いた Function を設けた上で、具体的な使用場面を設定するなど、積極的にコミュニケーション活動が展開できるようにした。

上述した内容・構成によって、学習者が**多様な知識と教養**を身につけ、主体的に**社会の形成に参画**し、自他国の伝統・文化を尊重しつつ**国際社会の平和と発展に寄与する態度**を養うことが達成できる教科書となるように編修した。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
前見返し J. K. Rowling のことば	・ J. K. Rowling のメッセージを読むことで、個人の価値を尊重して、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う。(第2号)	前見返し表

<p>Introduction 1 (辞書指導) Introduction 2 (発音指導)</p>	<p>・英語を学習する上での基本的な知識を確実に身に付ける。(第1号)</p>	<p>6～9 頁</p>
<p>Lesson 1～10</p>	<p>・さまざまな内容の英文を読み、活動を行うことによって、幅広い知識と教養を身に付ける。(第1号) ・日本と他国の高校生活の違いに関する題材を読み、自分の意見を表現することで、他国の文化及び我が国の文化を尊重する態度を養う。(第5号) ・絶滅危惧種の動物やそれに対する保護の取り組みに関する題材を読み、自分の意見を表現することで、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う。(第4号) ・やなせたかし氏の人生と作品に関する題材を読み、自分の意見を表現することで、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う。(第3号) ・ユニバーサルデザインに関する題材を読み、自分の意見を表現することで、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。(第3号) ・J. K. ローリング氏の人生と作品に関する題材を読み、自分の意見を表現することで、創造性を培い、また職業に対する意識を高め、勤労を重んずる態度を養う。(第2号) ・成人に関する題材を読み、自分の意見を表現することで、自主及び自律の精神を養う。(第2号) ・フードマイルズに関する題材を読み、自分の意見を表現することで、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う。(第4号) また、我が国と他国との協力関係について学び、国際社会の一員であることを自覚させる。(第5号) ・論理的思考に関する題材を読み、自分の意見を表現することで、真理を求める態度を養う。(第1号) ・平等意識や公平の観念を養うため、男女・人種などにおいて、偏りが生じないように配慮した。(第3号)</p>	<p>全般 Lesson 1 (10～19 頁) Lesson 2 (20～29 頁) Lesson 3 (32～41 頁) Lesson 5 (54～65 頁) Lesson 6 (66～77 頁) Lesson 8 (92～103 頁) Lesson 9 (106～117 頁) Lesson 10 (118～129 頁) 写真・イラスト全般</p>
<p>Function 1～5</p>	<p>英語で会話するための基本的な知識を、反復練習により定着させる。(第1号)</p>	<p>30-31, 52-53, 78-79, 104-105, 130-131 頁</p>
<p>Reading</p>	<p>物語文を読み、場面設定や登場人物の心情を考えながら音読をすることにより、豊かな情操を培う。(第1号)</p>	<p>132～139 頁</p>
<p>後見返し Classroom English</p>	<p>教室で用いる基礎的な英語表現を身につけさせる。(第1号) 相互の意見や関係性を尊重し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(第3号)</p>	<p>後見返し表</p>

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

I. 教科書の特徴

A. 見開き構成で喚起する学習意欲

- 1時限で無理なく終わられる。学習意欲の湧く分量・レベルとすることで、一般的な教養を高め、専門的な知識・技術を習得させることに役立ちます。

B. 生徒の意見を引き出す題材・無理なく生徒に英語を使わせる工夫

- 生徒に馴染みのある「パンダ」「携帯」から「ユニバーサルデザイン」「フードマイルズ」など社会的な内容まで、「生徒が話したくなる／話す価値のある」トピックを揃えることで、豊かな人間性、創造性を養うことに役立ちます。

C. 効果的なスパイラル学習で定着する活動

- 本文で扱った文法・語い・テーマを、設問の中で繰り返し活用できます。
本文に関連した内容の簡単なペアワークで、自己表現活動を行うことによって、個性の確立に努め、社会について広く深い理解と健全な批判力を養うことに役立ちます。

II. 各課の構成

A. Introduction: 英語学習の基礎となる「辞書の使用法」「発音・アクセント」の基本を巻頭にまとめました。

1. 辞書の使い方を学ぼう! : 英和辞典の構成、単語などを調べる際の注意点など。
2. 英語の発音・アクセント: つづりと発音の関係、英文のリズム・音の変化など。

B. 本 課: 本文理解を中心にしつつ、無理なく生徒が英語を使う活動を促す見開き構成です。

1. 導入ページ

Your Goal! : 語い・文法・機能表現・内容の観点でその課の学習目標を示しています。

V	G	F	C
ocabulary	rammar	unction	ontents
「自然・環境」に関する語を覚えよう。	英語の基本的な文の形を覚えて文を作ろう。	「最初に…、次に…」と順を追って説明する表現を学ぼう。	絶滅のおそれがある動物について調べて発表しよう。

Warm Up : 1…音声聞いて、内容に合致する写真などを選ぶ問題です。

2…写真などについてペアになって会話をする活動です。

★負担にならないよう、ここでは選択式の解答になっています。

2 Get into pairs and talk about Picture D.

A: What do you think about the pandas in Picture D?

B: They are (interesting / strange / funny)! What are they?

A: They look like (a panda family / fake (にせの) pandas / panda robots).

B: (I think you're right. / Really?)



2. 本文ページ

本文：写真・イラスト・図表などで本文内容を補足しています。

脚注：代名詞や言い換えの確認をすることで、本文理解を手助けします。また、巻頭 Introduction と連動し、辞書の引き方や発音・アクセントの確認ができます。

2. theirは何を指しますか。 4, 5. They, theyは何を指しますか。

2. *because of 8. as a *result 辞 6. wildの品詞と意味は？

Hints for Understanding：ターゲットとなる文法事項の簡単な説明です。

Read It Through：本文理解を確実にするための内容把握問題です。

設問(A)は T/F 問題でほぼ固定し、本文の概略を押さえます。

設問(B)は適宜イラストや図を用い、形式にバラエティを持たせています。

Read It Through

A Answer true or false.

1. The environment today is good for pandas.
2. Human activities changed pandas' homelands.
3. The panda is an endangered species.

B Put the pictures in the right order.

a.



b.



c.



Let's talk：本文内容に関連したペアワークによる英語活動です。学習者の負担を軽くするために、対話のパターンを示し、ヒントも多く提示しています。

Let's talk

A: What kind of human activities are bad for pandas?

B: I think _____ is bad for pandas.

A: How can we protect pandas?

B: In my opinion, _____ will protect pandas.

Hints cutting down trees / hunting (狩猟する) pandas / polluting (汚す) the air[rivers]
using less paper / knowing more about pandas / cleaning the air[rivers]

「～すること」という表現を使ってパンダを守る方法について話してみよう。



3. 課末ページ

Vocabulary Building : 英語のヒントから各パートの**新語**を見つける活動です。ゲーム感覚で楽しく取り組みながら、**本文の内容を思い出す手助け**にもなります。

Vocabulary Building

▶ **Read the hints and find the words in the text.**

Part 1

1) r a [] [] [] [] ... not very often

2) a t [] [] [] [] ... a sports player

Part 2

3) e n [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] ... the natural world (the air, water, forests, *etc.*)

Summary : 本文全体の要点をまとめる活動です。図表・年表・文章によるまとめなど、**本文内容に応じた形式**になっています。

Summary

LESSON

▶ **Fill in the blanks.**



Pandas are cute for three reasons: () bodies, their () heads, and the () rings around their eyes.



Pandas' () are becoming smaller and more (). Pandas cannot find enough (). Also, they have () babies.



The China Conservation and Research Center raises baby pandas in the 'panda ()'. Through their (), the number of pandas is now increasing.

Express Yourself : 本文の内容を発展させる**調べ学習・発表**などの活動です。

Express Yourself 日本で絶滅が心配されている動物を1つ選んで簡単な英語で紹介してみよう。

Review : 文法事項のまとめです。適宜空所を設け、**主体的な学習**を促します。

2. SVO 動詞の目的語(O)になるのは、名詞または名詞の働きをするもの。

a. 名詞・代名詞 b. 動名詞(～ing) c. 不定詞(to+動詞の原形)の名詞用法

	主語(S)	動詞(V)	目的語(O)	
a.	Pandas	lost	their homelands.	パンダは故郷を失った。
b.	People	started	planting trees.	人々は()始めた。
c.	They	want	to save pandas.	彼らはパンダを〔救うことを望んでいる→〕救いたがっている。

Drills : Review で扱った文法事項を確認する練習問題です。Review の解説項目[A][B][C]に合わせた**項目対応大問**となっているので、ひとつの文法項目に集中して取り組みます。

★Drills の指示文はすべてパターン化した平易な英問になっています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-143	高等学校	外国語	コミュニケーション英語 I	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
104・数研	コ I ・ 343	Revised BIG DIPPER English Communication I		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

I. 全般的な留意点

- A. 題材は、生徒の人間として**調和のとれた育成**に寄与するもので、知的好奇心を刺激する**バラエティに富んだ内容**を取り揃えた（異文化、創造の苦悩と喜び、福祉、環境問題、心を打つ話など）。
- B. 英語を通じて、**積極的にコミュニケーションを図る態度**を育成するため、問題演習の**指示文は英語を用いた**。また、言語活動を行いやすいように、**具体的な指示・モデルパターン**を掲載した。
- C. **情報や考えを的確に理解して伝える基礎的能力**を習得できるよう、**4技能の基礎を段階的に学べる構成**とした（巻頭に発音指導のページを掲載し、各課脚注に練習問題を入れた。また、各パートにペアワークによる自己表現活動 Let's talk を用意した）。

II. 教科書の構成

A. 本課・導入ページ

① トビラ：生徒の興味を引き、題材への興味を喚起する写真。

② **Your Goal!**：語彙・文法・機能表現・内容の観点でその課の学習目標を示す。

③ **Warm Up**：1. 音声から写真などを選ぶ問題。／2. 写真をもとに対話する活動。

D. Function の課

FUNCTION 1

Why Don't We Go Shopping Together?

● 誘う / ● 同意する・断る

Key Expressions

● 誘う 「～しませんか」

- Why don't we go shopping together? いっしょに買い物に行かない?
- How about going to the movies? 映画に行かない?
- How about some coffee? コーヒーでもどう?
- Let's have lunch together. いっしょに昼食を食べようよ。
- Shall we walk to the station? 駅まで歩かないか。

● 同意する 「いいですね」

- OK. All right. Sounds good [nice/great].
- That's fine with me.

● 断る 残念ですが～ | ※断るときは理由を付けましょう。

- I'm sorry, but I ~. I'm afraid I ~. I'd like to, but I ~.

Listen to the dialogues and fill in the blanks.

* dialogues (対話) を聞け

A Jenny: Hi, Kazuki, did you bring your lunch from home?
If not, _____ ?
Kazuki: OK. Where would you like to go?
Jenny: _____ the new hamburger shop near the station?
Kazuki: Sounds good.

B Ben: Asuka, are you free next Sunday? _____ ?
Asuka: Next Sunday? _____ for an exam.
Ben: Oh, that's too bad.

FUNCTION 1

Model Dialogue

Eri: I'm going to visit Jim's house next week.
Why don't we go together, Hiro?
Hiro: **All right.** Eri. What day is good for you?
Eri: How about Sunday?
Hiro: **I'm afraid** I have to be at home all morning on that day.
Eri: Then, **let's go** after 1:00 p.m.
Hiro: **OK, sounds good.**



Work with a classmate.

A: 誘うための _____ tomorrow?
B: ● _____
A: OK, then how about next Saturday?
B: ● _____

① 誘う

- a. why don't we go shopping
- b. how about going to the movies
- c. shall we study in the library

② 一旦断る

- a. I'm sorry, but I'm not free tomorrow.
- b. I'd like to, but I will visit my grandparents' house.
- c. I'm afraid I'll be busy.

③ 誘いを受ける + O と答える

- a. Sure. That sounds good.
- b. OK. That's fine with me.
- c. All right. Sounds nice.

It's Your Turn!

週末に友だちをどこかに誘う文を作ってみよう。

_____ this weekend?

- ① **Key Expressions** : 機能表現の定型を提示。
- ② **リスニング問題** : 機能表現を耳で確認。
- ③ **Model Dialogue** : 対話文で機能表現の自然な使われ方を確認。
- ④ **Work with a classmate.** : Model Dialogue の型を用いた言い換え練習。
- ⑤ **It's Your Turn!** : 機能表現を用いて文を書く問題。

E. その他の構成要素

Introduction (巻頭) : 1…基本的な辞書の使用法を学ぶ。

2…発音・アクセントの基本を学ぶ。

Reading : 読み物…心温まる感動の物語。フィクションを扱い、効果的な音読を学ぶ。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	箇所	配当 時数
Introduction 1, 2	<p><内容> (2)-ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。</p> <p><内容の取扱い> (2) 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を体験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。</p>	<p>Introduction 2 (発音・アクセント指導)</p> <p>Introduction 1 (辞書指導)</p>	4
Lesson 1～10	<p><内容> (1)-ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 (1)-イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 (1)-ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。 (1)-エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2)-ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 (2)-イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 (2)-ウ 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりすること。</p> <p><内容の取扱い> (1) 中学校におけるコミュニケーション能力の基礎を養うための総合的な指導を踏まえ、聞いたことや読んだことを踏まえた上で話したり書いたりする言語活動を適切に取り入れながら、四つの領域の言語活動を有機的に関連付けつつ総合的に指導するものとする。 (2) 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を体験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。</p> <p><〔言語の使用場面の例〕の取扱い> a 特有の表現がよく使われる場面 ・問答、手紙 b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面 ・地域での活動 ・社会での活動</p>	<p>各レッスン Warm Up 1</p> <p>各レッスン Read It Through, 及び Summary</p> <p>各レッスン Let's talk</p> <p>各レッスン Express Yourself</p> <p>脚注の音声指導(22, 26, 60, 70, 72, 82, 94, 114, 126 頁)</p> <p>①Hints for Understanding (101 頁) ②Drills [C] (103 頁) ①Lesson 5 本文 (60 頁, 1 行目), Lesson 8 本文 (100 頁, 11 行目) ②Let's talk (25, 47, 57, 73 頁など)</p> <p>各レッスン Let's talk 及び Express Yourself (読んだことを踏まえて話す・書く活動)</p> <p>Lesson 1～4 の Hints for Understanding, Review, Drills (中学既習の文法事項を中心に扱う)</p> <p>①124 頁 本文 6～11 行目 ②134-135 頁 本文</p> <p>①Lesson 5 Warm Up 2 及び 本文 ②Let's talk (57, 59, 61, 63 頁)</p>	59

	<p>c 多様な手段を通じて情報などを得る場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本、新聞、雑誌などを読むこと ・情報通信ネットワークを活用し情報を得ること <p><〔言語の働きの例〕の取扱い></p> <p>c 情報を伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要約する / 理由を述べる <p><文構造のうち、運用度の高いもの></p> <p>d-(a) 主語+動詞+目的語+分詞</p> <p><文法事項></p> <p>(ア) 不定詞の用法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原形不定詞 <p>(イ) 関係代名詞の用法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞what <p>(ウ) 関係副詞の用法</p> <p>(エ) 助動詞の用法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助動詞を含む受け身表現 <p>(オ) 代名詞のうち、it が名詞用法の句及び節を指すもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・itが名詞用法の節をさすもの <p>(カ) 動詞の時制など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去完了形 <p>(キ) 仮定法</p> <p>(ク) 分詞構文</p>	<p>各レッスン Express Yourself</p> <p>①各レッスン Summary</p> <p>②Let's talk (35, 71, 73, 83, 95, 99, 111, 125, 127 頁)</p> <p>90-91 頁 Review B, Drills B</p> <p>90-91 頁 Review C, Drills C</p> <p>128-129 頁 Review B, Drills B</p> <p>102-103 頁 Review A, Drills A</p> <p>116-117 頁 Review B, Drills B</p> <p>116-117 頁 Review A, Drills A</p> <p>102-103 頁 Review B, Drills B</p> <p>76-77 頁 Review B, Drills B</p> <p>116-117 頁 Review C, Drills C</p> <p>90-91 頁 Review A, Drills A</p>	
Reading	<p><内容></p> <p>(1)-イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。</p>	<p>①132 頁 Tips for Reading</p> <p>②139 頁 Comprehension</p> <p>③139 頁 Tips for Reading</p>	5
Function 1~5	<p><内容></p> <p>(1)-ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p><〔言語の働きの例〕の取扱い></p> <p>a コミュニケーションを円滑にする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相づちを打つ / 聞き直す <p>b 気持ちを伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・褒める / 感謝する / 心配する <p>d 考えや意図を伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賛成する / 反対する / 主張する <p>e 相手の行動を促す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘う / 依頼する / 許可する <p><文法事項></p> <p>(エ) 助動詞の用法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な依頼の表現 (過去形) 	<p>各 Function の Q</p> <p>①104 頁 10 行目など</p> <p>②26 頁 19 行目</p> <p>①Function 3 全体</p> <p>②Function 4 全体</p> <p>Function 5 全体</p> <p>Function 1, 2 全体</p> <p>Function 2</p>	10
		計	78